

御汁 すすまし  
海老つまみ

御飯 葉茶飯

御香の物 瓜奈良漬

御平

松かさ鯛  
ひじき  
松茸

御焼物

鯛塩やき

御菓子椀

うんとん鱧  
新ぎんなん  
岩竹

御茶碗

鶉  
新午房  
鱧

御酒

御盃

御吸物

赤味噌  
宇治川  
鯉

御取肴

鯛かふ焼  
海老しんじよふ  
烏賊ちりめん巻  
百合根  
むかご

御重引

宇治川鰻

御鉢肴

山吹  
鯛  
堀川牛房

御作り身

鱒  
若狭の鯖

御水物

大和柿  
なし  
よふかん

御菓子

紅葉重  
吹上菊  
梢のにしき  
白菊  
若みとり

(下部付箋)

〔御菓子類可然奉存候〕

御茶

千代昔

御干菓子

吹よせ

御煎茶

徒然

以上

不用 御菓子用之也

六〇二 (献立)

(献立)

御鱈

いり酒  
わさび  
鮎  
水禅寺  
栗

御飯

御汁

しめし

御香物

沢庵漬  
大根  
奈良漬  
瓜  
花塩

御煮物 鯛切身  
生湯葉  
ひじきちうせん

御焼物 塩焼  
鯛

御菓子碗 玉子鱧  
ちうろぎ  
松茸  
いり子  
唐土麩

御台引 うなぎ

御吸物 洗  
きす  
もそく

御盃 朝日

御取肴 焼鳥  
しぎ  
うにかまほこ  
海老  
きんなん  
長いも

御茶 初昔

御菓子 五種  
小倉野 千歳酢  
大徳寺 さんとふ  
桃揚坊  
青羊寒

御薄茶 白むかし

御干菓子 三種  
折たか  
喜撰

七三六 (茶会記)

(茶会記)

吉野椀皆具

宗乾好青菜皿

左入作 白味噌  
汁

焼物 塩いわし

盛添鱈

はら□子 飯

大根

□酢

唐津小片口

香もの 茄子

平 富貴の頭

鯛切身

平 咲海老  
平あらめ

坪 頭芋  
葛あんかけ  
花鯉

吸もの 金花山  
干海鼠

八寸 生姜汁

蛤にしめ

本津納豆

佳□手製

菓子 昆布巻

庭前銀杏

一御茶 竹田紹清

初昔

穂長菜  
尾州百合根

於抛筌齋薄茶

額 利休居士筆

於松山表

一掛物 太守様ヨリ常叟宗室拝領  
万歳之画

長春筆

呂宋真壺

柏叟

銘象

一釜

少庵好巴

古浄元作

隅棚

卷物

不見齋幼年  
いろは清書

無学和尚奥書

一香合

菊絵蛤

我等八歳点初之節  
吸江齋より為祝到来

爪紅台子

一水指

染附共蓋

杓立 火箸 建水 古銅

蓋置 古湊焼三猿

一茶碗

柏叟初造

黒

一薄茶器

寒雲桜木地  
名命玄々齋好

一茶匙

一燈奈良土産  
鹿角

惣菓子

洲浜羊羹  
万代結

点心

吸物重箱出し

咄々齋

一掛物 大龍和尚筆  
一行

今日重新今日庵

一燈江下在

三宝熨斗

古溪和尚賀頌之写

泉南之抛筌齋宗易迺予

三十年飽參之徒也禪余以

茶事為務頃辱特降

綸命賜利休居士之号聞斯

盛拳不堪扞贅一偈以抒

賀忱云

□老神通老作家

飢来喫飯遇茶々

心空及弟等閑看

風露新香隱逸花

以上

玄室主

番号	資料名	年月日	備考
734	(酒代等書上)		
735	(諸勘定書綴)		
736	(茶会記)		
737	(和歌書上)		秀元
738	(名刺)		松下彦右衛門
739	(断簡)		
* 740 ~ 743 卷込一括			
740	初日夕平入料理 (献立)		
741	味卜御料理 夕献立		
742	(献立)		
743	(献立)		

綴  
前欠

番号	資料名	年月日	備考
698	覚(阿州行入用)	4. 27	木屋弥兵衛→旦那
699	(諸勘定書綴)		
700	覚(増上寺茶料請取)	5. 5	星野宗以
701	(数寄屋方壺につき回状)	5. 9	御宿上林平入→味卜他
702	八嶋徳庵書状	5. 12	→御宿上林平入
703	覚(数寄屋頭等人数壺数)	5. 16	星野宗以→上林味卜
704	覚(宿代)	5. 27	大坂屋七兵衛→上林平入
705	上林春松秀政書状(暑中伺)	6. 5	→矢嶋弥五左衛門・井内椿三郎
706	口上書(看病につき)	6. 28	
707	(上林定五郎相続につき申渡)	7. 2	
708	相良三郎書状(定家色紙につき)	7. 4	→上林春松
709	長江縫殿書状(阿波守暑中伺につき)	7. 26	→上林春松
710	覚	7. 晦	白粉屋権兵衛→上林三入
711	乍憚口上書(手代大沢弥兵衛阿淡下向につき)	8	上林春松
712	覚(旅籠代等受取)	10. 2	丸屋金六→上
713	井筒屋佐兵衛書状(地震・秋切茶等につき)	12. 1	→大沢弥兵衛
714	吹田屋伊五郎書状(火事等につき)	12. 1	→上林春松・春佐
715	口述(由緒書につき)	12. 8	[ ]→平入
716	左近書状(春松等奉行所行につき)	12. 10	→赤心御一統中
717	上林味卜書状(音物につき)	12. 28	→三入
718	(勇丸薨去につき書状写留)		尾州カ
719	(御茶壺御詰覚)		植村駿河守他→
720	口上書(献上物・拝領物につき)		御物御茶師十老人→御奉行所
721	覚(酒肴代等)		宇治床→御茶師御仲間中
722	覚(御宿入用)		上林◇→久印
723	覚(諸入用勘定)		
724	覚(阿州屋敷等進物書上)		
725	覚(諸入用書上)		
726	覚(進物代等書上)		
727	某書状(阿州地震につき)		
728	(山上幸二差留につき願書)		
729	(願書につき諸用事書上)		
730	(松花御壺臨時御用につき書留)		
731	(阿州諸家宛書状認め方書留)		
732	(某家中諸家宛書状写留)		
733	(質物預状下書)		

綴

前欠

番号	資料名	年月日	備考
666	添証文之事 (養子相続につき)	文政 5.12	長井貞甫他→斎藤栄玄老他
667	年行事上林三入書状	1. 6	→永田七郎右衛門他
668	口上覚 (淀領茶園につき)	(天保 7).2.	銭屋彦兵衛→
	(668 包紙上書) 「天保七申年二月 淀領作茶一件」		包 綴
669	口上書 (御茶出入下済につき)	(天保 7)申 .3. 17	御物御茶師惣代上林味ト他→奉行所
670	御茶小倉自製 (価格表)	天保 7. 3	小倉村茶製仲ヶ間
671	一札之事 (出入につき)	天保 7. 3	[ ] →三仲ヶ間御茶師中 下部欠
672	証書 (長屋借用につき)	元治 1. 7	借り主炭屋庄兵衛他→上林春松老
673	定 (儉約)	丑. 3	辻善徳・長茶宗味・堀真朔・上林三入・星野宗以・尾崎有庵・酒多宗有・長井貞甫・上林平入・上林春松・上林味ト
674	覚 (借入金仕分につき)	卯.④. 1	三仲ヶ間年行事→上林平入
675	口上書取 (阿州家中御茶につき)	辰. 8	
676	(上林門太郎養子上林六郎由緒書)	辰. 8	
677	乍恐奉願上口上覚 (在茶師差止につき)	申. 2	上林春松→西尾富之助
678	覚 (風炉代)	申. 4. 5	御風呂師永楽与五郎→馬場宗円
679	(竹木代勘定書)	申. 7. 14	喜□→(三入)
680	覚 (銀子受取)	申. 12	公□宿□粉屋権兵衛→春松他
681	御茶会所御用 (勘定書)	申. 12	炭屋庄兵衛→
682	覚 (金子勘定)	申	亀屋吉兵衛→桂藤 [
683	覚 (銀子勘定)	酉. 1. 晦	申年御袋年行事→申年御物年行事
684	覚 (人足・縄代)	酉.10. 2	吉田屋喜助→上林春松
* 685 ~ 690 こより一括			
685	覚 (大判等差出)	亥. 5. 15	年行事上林春松他→上林三入老
686	口上 (仲間入用につき)	6. 10	味ト→上林三入
687	覚 (年行事并宿入用)	6. 11	上林味ト→上林三入
688	覚 (宿入用)		味ト→九人
689	覚 (布代)		
690	覚 (銀子勘定)		
691	三仲ヶ間惣代書状 (御茶取締につき)	1	→松尾佐兵衛
692	有庵書状 (尾張宛書状につき)	2. 15	→春松
693	菱池珪順書状 (宇治茶詰御用につき)	2. 22	→上林春松
694	上林春松書状 (寄合不参につき)	2. 28	→御物年行事
695	覚 (諸色算用)	3. 2	[ ] 藤兵衛→上林
696	(御茶取締につき回状)	3. 23	三仲ヶ間年行事→山上善太夫他
697	上林春松書状 (茶料拝借につき)	4. 11	→伊藤素□
* 698・699 巻込一括			

番号	資料名	年月日	備考
641	請取申銀子之事 (延宝三年分)	安政 5.11. 23	萩原金弥他→上林三入他
642	請取申金子之事 (寛文九年分)	安政 5.11. 23	萩原金弥他→上林三入他
* 643 ~ 644	包紙・卷込一括 「安政六未年 古拝借上御受取書式通 年行事上林春松・星野宗以」		
643	請取申金子之事 (寛文九年分)	安政 6.11. 23	石原四郎右衛門他→上林三入他
644	請取申銀子之事 (延宝三年分)	安政 6.11. 23	石原四郎右衛門他→上林三入他
645	起請文之事 (すあい仲間)	万延 1. 9	喜多川孫七他→三御仲ヶ間御茶師中 包
* 646 ~ 647	封筒・卷込一括 「万延元年 古拝借御受取書式通 年行事上林味卜・上林三入」		
646	請取申銀子之事 (延宝三年分)	万延 1.11. 23	安井鎌次郎他→上林三入他
647	請取申金子之事 (寛文九年分)	万延 1.11. 23	安井鎌次郎他→上林三入他
* 648 ~ 649	封筒・卷込一括 「文久元酉年古拝借請取手形 年行事上林春松・酒多宗有」		
648	請取申金子之事 (寛文九年分)	文久 1.11. 23	比留与七郎他→上林三入他
649	請取申銀子之事 (延宝三年分)	文久 1.11. 23	比留与七郎他→上林三入他
650	借用金子之事	文久 3. 9	亥年行事酒多宗有・尾崎坊有庵→巽講御世話方中
* 651 ~ 652	包紙・卷込一括 「元治元子年十一月廿四日古拝借上納御受取書 式通 上林味卜老分ハ 翌廿五日同人江渡ス 年行事上林春松・上林三入」		
651	請取申金子之事 (寛文九年分)	元治 1.11. 23	佐原勘右衛門他→上林三入他
652	請取申銀子之事 (延宝三年分)	元治 1.11. 23	佐原勘右衛門他→上林三入他
* 653 ~ 656	封筒・卷込一括 「慶応元丑年古拝借上納請取手形 四通 丑年年行事上林平入・長茶宗味」		
653	請取申銀子之事 (延宝三年分)	慶応 1.11. 23	折井伊左衛門他→上林味卜
654	請取申金子之事 (寛文九年分)	慶応 1.11. 23	折井伊左衛門他→上林三入他
655	請取申銀子之事 (延宝三年分)	慶応 1.11. 23	折井伊左衛門他→上林三入他
656	請取申金子之事 (寛文九年分)	慶応 1.11. 23	折井伊左衛門他→上林味卜
* 657 ~ 658	包紙・帯封・卷込一括 「慶応元二寅年 古拝借上納受取書式通入 外ニ味卜老分同人渡 ス」包紙用紙 (古拝借上納銀につき回状 11.1 年行事→味卜他)		
657	請取申金子之事 (寛文九年分)	慶応 2.11. 23	大久保内膳他→上林三入他
658	請取申銀子之事 (延宝三年分)	慶応 2.11. 23	大久保内膳他→上林三入他
659	口上書 (先例御尋につき)	巳 .12. 16	三仲ヶ間年行事上林味卜・上林牛加・喜多立玄
660	一札 (金子拝借につき)	享和 3. 3	上林春松→両角伝兵衛他
661	(尾州壺につき諸事書留)	文化 8	
662	(慶長以降年数改め書付)	文化10. 2	
663	以書付奉願候 (御物御堂御用につき)	文化 12. 2	山上善之丞他→三御仲ヶ間御茶師中
664	親類書	(文政3)辰 .6	上林春松
* 665 ~ 667	包紙一括 「春退隠居賄方一件 仲ヶ間連印一札入」 包紙用紙 (覺 (初昔等注文) 遠山美濃守内安藤吉次郎他→上林春松)		
665	一札 (養子相続につき)	文政 5. 12	上林春松他→長井貞甫他

番号 資料名 年月日 備考

- \* 617 ~ 659 袋一括「元治元年子十一月 古拝借上納御請取書入 年行事上林春松・上林三入」
- \* 617 ~ 622 封筒一括「寛政五丑年文政五六七年古拝借御請取入 都合四年分八通入 上林春松 万延二酉年改入置」
  - 617 請取申金子之事 (寛文九年分) 寛政 5.11. 23 岩間半十郎他→上林三入他
  - 618 請取申銀子之事 (延宝三年分) 寛政 5.11. 23 岩間半十郎他→上林三入他
- \* 619 ~ 620 卷込一括
  - 619 請取申銀子之事 (延宝三年分) 文政 5.11. 23 天野忠右衛門他→上林三入他
  - 620 請取申金子之事 (寛文九年分) 文政 5.11. 23 天野忠右衛門他→上林三入他
- \* 621 ~ 622 卷込一括
  - 621 請取申金子之事 (寛文九年分) 文政 6.11. 23 速水織之助他→上林三入他
  - 622 請取申金子之事 (延宝三年分) 文政 6.11. 23 速水織之助他→上林三入他
- \* 623 ~ 624 卷込一括
  - 623 請取申銀子之事 (延宝三年分) 文政 7.11. 23 曲淵甚右衛門他→上林三入他
  - 624 請取申金子之事 (寛文九年分) 文政 7.11. 23 曲淵甚右衛門他→上林三入他
- 625 掛金請取之通 天保11. 9 尾崎坊勘定元→御物仲ヶ間 包 横
- 626 乍恐奉願上候口上 (由緒加筆につき) 天保 12.11 御物御茶師上林味卜他→上林六郎他
- \* 627 ~ 628 封筒・卷込一括「弘化三丙午年古拝借金銀御請取書 式通」
  - 627 請取申金子之事 (寛文九年分) 弘化 3.11. 23 三田彦三郎他→上林三入他
  - 628 請取申銀子之事 (延宝三年分) 弘化 3.11. 23 三田彦三郎他→上林三入他
- \* 629 ~ 640 封筒一括「安政五年午十一月改 古拝借御請取入 年行事酒多宗有・上林三入」
- \* 629 ~ 632 卷込一括
  - 629 請取申金子之事 (寛文九年分) 弘化 4.11. 23 小笠原采女他→上林三入他
  - 630 請取申銀子之事 (延宝三年分) 弘化 4.11. 23 小笠原采女他→上林味卜
  - 631 請取申金子之事 (寛文九年分) 弘化 4.11. 23 小笠原采女他→上林味卜
  - 632 請取申金子之事 (延宝三年分) 弘化 4.11. 23 小笠原采女他→上林三入他
- \* 633 ~ 636 卷込一括
  - 633 請取申銀子之事 (延宝三年分) 嘉永 5.11. 25 塚原栄三郎他→上林味卜
  - 634 請取申金子之事 (寛文九年分) 嘉永 5.11. 25 塚原栄三郎他→上林味卜
  - 635 請取申金子之事 (寛文九年分) 嘉永 5.11. 25 塚原栄三郎他→上林三入他
  - 636 請取申銀子之事 (延宝三年分) 嘉永 5.11. 25 塚原栄三郎他→上林三入他
- \* 637 ~ 640 卷込一括
  - 637 請取申銀子之事 (延宝三年分) 安政 3.11. 23 水上金之丞他→上林三入他
  - 638 請取申金子之事 (寛文九年分) 安政 3.11. 23 水上金之丞他→上林三入他
  - 639 請取申銀子之事 (延宝三年分) 安政 3.11. 23 水上金之丞他→上林味卜
  - 640 請取申金子之事 (寛文九年分) 安政 3.11. 23 水上金之丞他→上林味卜
- \* 641 ~ 642 包紙・卷込一括「安政五年午十一月 古拝借御受取式通 年行事酒多宗有・上林三入」



番号	資料名	年月日	備考
585	御料理御献立 (若殿様)		
586	御献立		
* 587 ~ 602	卷込一括		
587	茶湯会付留	文化 6 ~ 8	
* 588 ~ 592	卷込一括		
588	由緒書	文政 3. 8	八代目上林春松
589	由緒書	文政 7. 6	上林春松→上林六郎・上林又兵衛
590	親類書	文政 7. 6	上林春松→上林六郎・上林又兵衛
591	口上之覚 (春松相続につき)	文政 7. 6	辻善貞他→上林六郎・上林又兵衛
592	乍恐奉願候口上 (春松相続につき)	文政 7. 6	御物御茶師上林味卜→上林六郎・上林又兵衛
593	覚 (金子受取)	嘉永 6. 3. 1	鷹司殿御貸付御支配人高木乗祐→上林春松
594	借用申金子之事	安政 3. 12	借用主上林春松他→大坂江戸堀壺丁目小北屋文太郎 包
595	(御茶御用頭取につき達)	丑. 4	→上林又兵衛・上林左仲
596	平井市兵衛書状	4. 1	→ [ ] 春松
597	覚 (紙代等勘定)		釘屋卯兵衛→上林春松 上部欠
598	奉願候口上書 (上洛時目見につき)		
599	(阿波蜂須賀家御用由緒書)		
600	某書状別紙		
601	御料理御献立		
602	(献立)		
603	借用申金子之事	文政 5. 7	借用主上林春松他→小倉村金兵衛
604	(御成時頂戴物書上)	弘化 2. 3	
605	(拝借銀上納滞につき願書)	弘化 3. 6	上林春松他→東御役所御勘定方御役人中
606	奉願候口上書 (茶料割増につき)	慶応 2. 3	尾崎坊有庵・上林春松→箕田宗範・山本洞伝
607	覚 (金子受取)	子. 6. 13	□□林左衛門→上林春松
608	奉願上候口上書 (茶料三割増につき)	寅. 9	上林春松
609	瀧山□□書状	1. 13	→上林春松
610	上林門太郎書状 (御茶持参の礼)	5. 11	→上林春松
611	平岡忠七書状 (扶持料受取)	10. 26	→上林春松
612	奉願上候口上覚 (御国茶製につき)		上林春松→御留守居様
* 613 ~ 616	卷込一括		
613	某書状下書 (熨斗目茶用につき)		
614	某書状下書 (熨斗目着用につき)		
615	某書状下書 (熨斗目着用につき)		
616	(御目見時足袋着用につき達)		

番号	資料名	年月日	備考	
552	某書状下書 (祝蘭由緒等)		→板□弥助	前欠
553	起請文前書 (大名方御茶料につき)			
554	尾州一札状 (書状用例集)			
555	金銀出入勘定 (茶料)			
556	(江戸方・在尾人名書上)			
557	(阿波蜂須賀家戒名書上)			
558	奉願口上 (銀子拝借につき)			
* 559・561	卷込一括			
559	乍恐奉願上候口上 (茶料前借)			
560	末永氏江内々相談文通控			
561	乍恐奉願上候口上 (茶料前借)			
562	上林春松宛書状綴		大名家茶頭方より	綴
563	村田恵斎書状 (年頭茶筥献上につき)	正徳 2. 1.19	→上林味卜老	
564	預り申金子之事	寛延 3. 1	預り主上林春松他→中村惣左衛門	
565	覚 (秋切茶につき)	安永 4. 3. 15	大坂蔵屋敷酒井助之允他→上林春松	
* 566～616	袋一括			
* 566～586	こより一括			
566	預り申金子之事	天明 9. 1	伊阿弥飛驒守他→上林春松	
567	借用申銀子之事	文政11. 3	借用主辻善貞他→永田七郎右衛門	包
568	奉拝借証文之事 (銀子)	天保 3. 12	宇治橋本町拝借人上林春松他→	後欠
569	再奉願候口上 (伏見にて御目見)	嘉永 5. 1	上林春松→西尾源右衛門・河村市郎右衛門	
570	預り申金子之事	文久 1. 12	上林春松→露木□□	
571	覚 (金子受取)	午. 2. 4	大津紀州御用所→上林春松	
572	覚 (上林春松滞金高)	申. 1. 21	嶋屋太右衛門→武部	
573	御用所村□保次郎書状	4	→上林春松	
574	覚 (金子受取)	7. 6	□□弥右衛門→上林春松	
575	平井市兵衛書状	7. 16	→上林春松	
576	覚 (滞金高書上)	8. 8	嶋屋太右衛門→上林春松	
577	林春塘書状	9. 9	→上林春松	
578	(577 の包紙)			
579	覚 (金子受取)	11. 22	平次郎→上林春松	
580	借用申御金之事			
581	口上書 (国内茶製につき)			下書
582	(願書下案包紙)			
583	御国御年寄・江戸御年寄 (名前書上)			
584	(年寄名書上カ)			